

第61回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越支部 運営委員会議事録

日時：2023年5月13日（土）13：10～13：50

会場：大手町サンケイプラザ 4階（303+4）

出席者：175名

演者：4名

欠席者：28名

議題：1) 第61回地方会会長挨拶

事前登録では795名。これに当日の参加登録が加わり合計で881名。演題は156であったが、コロナの影響があって2題が取り下げとなり154となった。今回は特に会場での活発なディスカッションを重視したいということでポスターを取りやめて全て口演発表とした。その他にはランチョンセミナー5題、一般セミナー4題、教育講演3題、ショートレクチャー6題となった。企業からの協力もあって全体として黒字で運営できるものと考えている。

2) 新運営委員ならびに現運営委員の異動報告

【承認】

- ①荒井隆秀 埼玉医科大学国際医療センター
- ②保屋野真 新潟大学医歯学総合病院
- ③小松宏貴 イムス東京葛飾総合病院
- ④中島 真 行田総合病院
- ⑤森 敬善 昭和大学藤が丘病院
- ⑥重永豊一郎 大崎病院東京ハートセンター
- ⑦中林圭介 春日部中央総合病院
- ⑧福島裕介 藤沢湘南台病院
- ⑨清水 誠 国際親善総合病院

全員の出席が確認されたので就任が正式に承認された。
門平忠之先生は本人からの連絡で辞任となった。

3) 第62回地方会（2023/10/13・14）について

【報告】

会長の吉町文暢先生（東海大学医学部附属八王子病院）より、タイトルの主旨や準備の進捗についての説明がなされた。

ライブ配信は東海大学医学部附属八王子病院からのみとし、車谷容子先生もそこに参加して頂く。生ライブに加えてビデオライブとしてEVTのセッションとストラクチャーのセッションとコメディカルセッションの計4部屋を用意する。若い先生方に順次声を掛けていくので積極的に加わって欲しい。配信終了後には活動中の4つのクラブにそれぞれの部屋でディスカッションして頂く時間を設ける。

学術会は、ハイブリッド形式は費用の面で難しいので会場開催のみとする。学生と初期研修医は参加費を無料とし、企業の協力を得てシミュレーターを用意できるのでこれを使ってもらい、彼らをこちらの分野に誘いたいと考えている。

4) 第63回地方会（2024/5/11）について

【報告】

会長の佐藤明先生（山梨大学医学部附属病院）より上記日程で現地開催として準備を進めている旨の報告がなされた。

5) 第64回地方会（2024/10/11・12）について

【報告】

会長の緒方信彦先生（上尾中央総合病院）より、昨今は関連企業からの協力が得にくくなっており特にライブの詳細は今後検討を進めるが、魅力的且つ教育的で将来に継続性があるような会にしたいと考えているとの報告があった。

第65回（2025春）地方会長は武安法之先生（茨城県立中央病院）に決定している。
詳細は次回の報告とする。

6) 第60回地方会（2022/10/14・15）会計等報告

【報告】

第 60 回地方会について会長の小川崇之先生（東京慈恵会医科大学附属病院）より、セミナーや機器展示が予想より少なくなり、予算確保に苦労したが 961 名の参加を頂き、ライブ中継も予定通り 2 施設から出来た。Web からの発表を取り止めにする等会場の使い方を工夫することで経費削減が出来、全体としては黒字となった旨の報告がなされた。

- 7) 2022 年度会計報告と 2023 年度予算案について **【承認】**
2022 年度会計について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。
2023 年度予算について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。

8) 運営委員推薦について **【承認】**

- ①岡部俊孝 昭和大学横浜北部病院
- ②青山里恵 船橋市立医療センター
- ③矢野秀樹 群馬県立心臓血管センター
- ④遠藤彩佳 東京済生会中央病院
- ⑤嵐 弘之 東京女子医科大学
- ⑥新居秀郎 筑波記念病院つくばハートセンター
- ⑦浅野 拓 聖路加国際病院
- ⑧羽柴克孝 横須賀市立うわまち病院
- ⑨坂賢一郎 横須賀市立市民病院
- ⑩久保隆史 東京医科大学八王子医療センター

以上の先生方が推薦され、諮ったところ全員承認された。

次回開催の運営委員会へ出席いただいて正式に就任となる。

推薦書の入会年は必須のものとし、不明の場合は本部に照会するなどして必ず記入することとする。

- 9) 関東甲信越会則の改定について **【承認】**
支部役員の定年の規定について、提出されている資料に基づき支部長より説明がなされた。
審議の結果異議無く承認された。

10) コメディカル部会報告 **【報告】**

昨年度開催された第 8 回茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会並びに第 5 回千葉メディカルスタッフ研究会のコメディカル部会について支部長より報告がなされた。

現在使用されているコメディカル部会という名称を本部に倣ってメディカルスタッフ部会に変更することを検討する。

11) 本部からの報告 **【報告】**

働き方改革について、お願いしていたアンケートの集計結果が間もなく発表されると思う。本部ホームページに詳細を記した資料が掲載してあるので参考にして各施設からの申請を提出して欲しい。厚生労働省と労働基準監督局との折り合いがつかず、学会としては静観するしか無いという状況である。専門医制度についてもサブスペシャリティに関する問題で審議が停止してこちらも静観するしか無い状況である。学会は厚生労働省からの信任も厚いので、出来ることを淡々とやっていく。

以上